



## 大陽日酸技報の発刊にあたって

On the Occasion of Publication of  
TAIYO NIPPON SAN SO Technical Report代表取締役社長 田 口 博  
TAGUCHI Hiroshi

このたび、日本酸素株式会社と大陽東洋酸素株式会社の両社は、平成16年10月1日をもちまして合併し、大陽日酸株式会社として新たな第一歩を踏み出しました。

永年に亘り両社に賜りました皆様方の絶大なるご支援、ご協力に対しまして心より感謝申し上げます。

さて、弊社の主要関連業界の状況につきましては、鉄鋼や化学などの素材産業が、中国の旺盛な需要を背景に業績が急回復し、また、半導体産業もデジタルカメラ、薄型TVなどの本格的な普及に伴い大型投資が発表されるなど、これまでになかった状況変化が見られます。この変化は、従来になかった新しい技術課題や、社会的ニーズ、シーズを生じさせ急速な変貌を促しつつあります。

弊社は、このような変化を新たなビジネスチャンスと捉え、従来の技術を着実に維持発展させることと同時に、新しい時代のイメージとニーズに即した競争力の強化が緊急の課題であると考えます。このため、産業ガス業界のリーディングカンパニーとして環境負荷の低減、安全性、品質の確保はもちろんのこと、成長産業に視点を据えた世界展開を図るため、エレクトロニクス、医療、バイオなどの先端産業分野の新技术・商品開発に両社の得意技術を活かして重点的に取り組む所存です。また、弊社は「進取と共創。ガスで未来を拓く」ことを企業理念としています。お客様をはじめ、各界の方々のおよびパートナーとして全社員進取の気概をもって邁進し、密接な「共創」関係を築きながら新技术の開発に果敢に挑戦して、ガステクノロジーを通じた豊かな社会の実現に貢献して参ります。

本誌“大陽日酸技報”は、産業ガスに関わる製商品を中心に最新の成果を広く公表することで皆様方のご批評をいただき、社会ニーズに沿った技術としてさらに深化させることを目的に発刊いたします。

お客様、ならびに各界の方々には、今後とも本誌をご高覧いただき、相変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。